

# 新下水道ビジョン2100（仮称）策定に向けた 検討の進め方（案）

# 下水道ビジョン2100 ～「循環のみち」への転換～

下水道ビジョン2100(H17. 9月策定)について

- 下水道政策研究委員会(松尾友矩 東洋大学学長及び中長期ビジョン小委員会(花木啓祐 東京大学大学院教授)においてとりまとめ。
- 我が国の下水道政策の根幹をなし、地方公共団体は本ビジョンをもとに、それぞれの施策体系を構築しているところ。

## 下水道の使命を実現するための施策の考え方

20世紀型下水道

### ●下水道の普及拡大に重点

- ・汚水の効率的な「排除・処理」による公衆衛生・生活環境の向上
- ・雨水の速やかな「排除」による浸水対策

住民にわかりやすい情報発信と住民との対話

21世紀型下水道

### ●健全な水・資源循環を創出

- ・「排除・処理」から「活用・再生」への転換により、美しく良好な環境の形成並びに安全な暮らしと活力のある社会を実現
- ・地域における水・資源利用の自立性向上

## 下水道から「循環のみち」への転換

— 地域の持続的な発展を支える21世紀型下水道の実現 —

〈基本コンセプト〉  
循環のみち

これまでの下水道機能に加え、持続可能な循環型社会の構築を図るため、健全な水循環及び資源循環を創出する新たな下水道を目指します。

〈基本方針〉  
水のみち

水が本来有する様々な機能を活かす水循環の健全化に向け、水再生・利活用ネットワークを創出します。

〈基本方針〉  
資源のみち

将来の資源枯渇への対応や、地球温暖化の防止等に向け、資源回収・供給ネットワークを創出します。

〈基本方針〉  
施設再生

「水のみち」、「資源のみち」の実現を支え、新たな社会ニーズに応える、サステナブル下水道を実現します。

# 下水道中期ビジョン ～「循環のみち」の実現に向けた10年間の取り組み～

## 下水道中期ビジョン(H19. 6月策定)について

『下水道ビジョン2100』に示された姿を現実のものとするべく、概ね10年程度の下水道政策の基本的方向と施策ごとの整備目標及び具体施策の考え方について、下水道政策研究委員会に設置された計画小委員会(花木啓祐 東京大学大学院教授)においてとりまとめ

### 下水道の課題と 下水道を取り巻く状況

#### 下水道の課題

##### 汚水処理の普及

- 汚水処理人口普及率は約8割であるが、使えるか否かの性格の社会資本

##### 下水道機能の質的課題

- 浸水対策、地震対策、合流式下水道の改善、高度処理など質的向上の推進

##### 下水道ストックの増大

- 維持管理、延命化、改築更新の確実な実施

#### 下水道を取り巻く状況

##### 財政的制約の強まり

- 起債償還に向けた財源確保などに影響

##### 人口減少・少子高齢化社会の進展

- 下水道計画の前提条件の変化など下水道事業のあり方に影響

##### 水環境の変化

- 河川流量の減少、都市の水辺空間の喪失など水環境問題の顕在化

##### 資源・エネルギー問題、地球環境問題の深刻化

- 資源・エネルギー循環の必要性の高まり

### 中期の下水道政策のあり方

#### 基本的な考え方

- 多様な主体の参加・協働への転換
- 地域特性に応じた整備手法へと転換
- 管理の適正化と経営の安定化

#### 役割分担

- 地方公共団体による地域の最適解の実現
- 国による広域調整と事業のあり方を提示
- 行政と住民等との協働
- 民間活力の活用

#### 施策展開の進め方

##### (1) 住民参画への転換

- 事業の各段階で住民参加が可能となる場を設け、住民等の意見を事業に反映

##### (2) 選択と集中

- 優先度の明確化
- 重点整備地区の設定
- 目標水準の設定

##### (3) 整備手法の見直し

- 総合的な計画手法への転換
- 多様で柔軟な設計・施工手法への転換

##### (4) ストックマネジメントへの転換

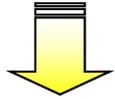
- 整備、管理、更新の一体的な最適化による戦略的なストックマネジメントシステムの構築と実現

# 新下水道ビジョン2100(仮称)策定に向けた検討の進め方(案)

## スケジュール

- 本年10月、下水道政策研究委員会立ち上げ
- パブコメを経て、来年夏頃を目途に、「新下水道ビジョン(仮称)」とりまとめ
- ➡ 必要に応じて、社会資本整備審議会での審議等を経て、平成27年度以降の国の施策に反映。

第1回:平成25年10月  
第2回:平成25年11月



第3回:平成25年12月  
第4回:平成26年 1月  
第5回:平成26年 2月  
第6回:平成26年 3月  
第7回:平成26年 4月



第8回:平成26年 5月

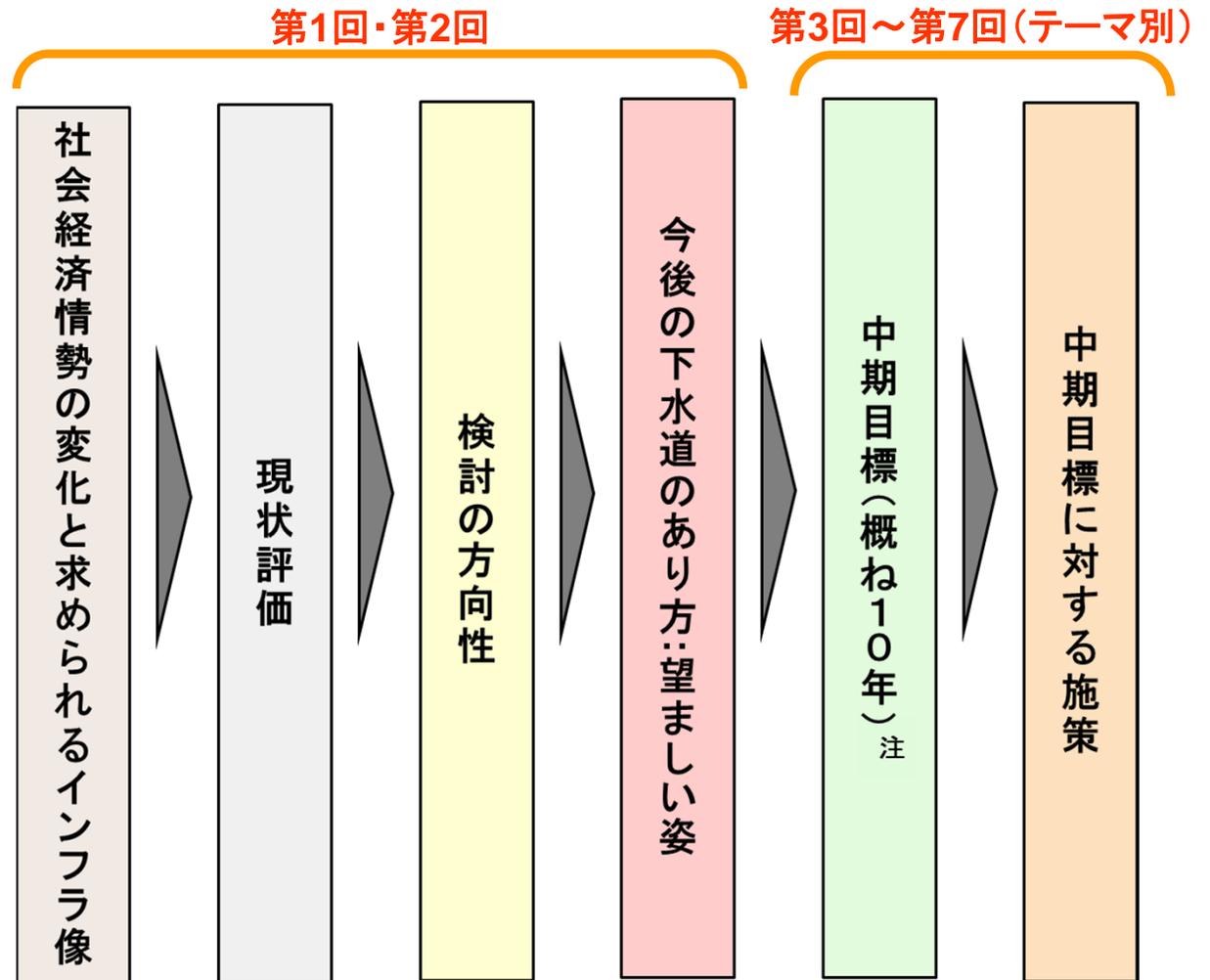
(※)中間案



(※)第8回以降パブコメ

第9回:平成26年 6月

(※)最終案



(注)望ましい姿と中期目標の乖離が大きい施策については、別途長期目標を設定

※ 第8回・第9回 全体とりまとめ